



東北大学

平成 26 年 7 月 28 日

報道機関 各位

国立大学法人 東北大学 大学院工学研究科

東北大学・カタールサイエンスキャンパスキックオフ 教育セミナー実施のお知らせ（7月31日開催）

東北大学大学院工学研究科は、宮城県内小中学校教員を対象に教育セミナーを下記のとおり実施いたします。つきましては、当日は御取材の上、紙面、番組等で紹介していただけますよう、よろしく願いいたします。

記

1 趣 旨：

東北大学・カタールサイエンスキャンパス（略称：QSC）プログラムのひとつに現職の教職員を対象に研修の機会を提供する「科学教育セミナー」を位置づけています。

その第1回目として、授業における学力形成の問題に関する心理学的研究、特に学習者の認知・思考・推論のあり方が科学的概念の形成に及ぼす影響、学習者の心理的特質を考慮した教授法をテーマに講義・対話形式でのセミナーを行います。また先端ものづくりセミナーとして、ものづくりに欠かせない3Dスキャナー、3Dプリンター、5軸マシニングセンタ等の実機に触れ、日々進歩する科学技術について、現職の教職員に学んでいただく機会を提供します。このセミナーで得たものを日々の授業に生かしていただき、子供たちの科学やものづくりへの興味や関心を醸成していただくことを目的としています。

2 実施日時：平成26年7月31日（木）13：45～16：00

3 実施場所：東北大学・カタールサイエンスキャンパスホール

（仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 青葉山キャンパス 工学部管理棟1階）

4 主 催：東北大学大学院工学研究科

後 援：宮城県教育委員会・仙台市教育委員会

5 内 容：13：45 セミナー開会

・あいさつ

・東北大学・QSCプロジェクト紹介

14：00 講演・質疑

・演題 『学習心理学からみた理科教育の課題』

・講師 東北大学大学院教育研究科教授 工藤与志文 先生

15：00 先端ものづくりセミナー

・3Dスキャナー、3D CAD、3Dプリンターの説明・実演

・精密加工機械 5軸マシニングセンタの説明・実演

16：00 セミナー閉会

6 対 象：宮城県内小中学校教員（参加者募集は締切ました）

■カタルサイエンスキャンパスとは？

東北大学大学院工学研究科では、カタル国の「カタルフレンド基金」の支援を受けて、宮城県の小学生、中学生、高校生を対象とした「カタルサイエンスキャンパス」を実施いたします。本プロジェクトでは、専用施設「カタルサイエンスキャンパスホール」において、学校では体験できない科学実験体験やものづくり体験、世界最先端研究に触れる機会を多数提供するプロジェクトです。

被災地域の子どもたちの科学やものづくりへの興味をきっかけを作り、将来の新産業創出を担う技術者、科学者を養成すること、地域の大学や地域企業への訪問を通じて、子どもたちの地域への理解と愛着を深め、地域復興を担う人材を育成することを目的としています。

■カタルフレンド基金(Qatar Friendship Fund)とは？

カタルフレンド基金は、2012年1月に設立された、東日本大震災の被災地復興を支援するカタル国の基金です。カタル国の前首長のシェイク・ハマド・ビン・ハリーフア・アール・サーニ殿下が設立し、新首長タミーム・ビン・ハマド・アール＝サーニ殿下の指揮の下、ハリッド・ビン・モハメド・アルアティーヤ カタル国外務大臣の主導で活動しています。議長はユセフ・モハメド・ビラール駐日カタル国特命全権大使が務めており、親善大使には俳優の別所哲也氏が就任しています。2012年1月から2014年12月の約3年間にわたり、「子どもたちの教育」、「健康」、「水産業」の3分野を支援するプロジェクトを対象に、迅速かつ効率的に運営されています。支援金額は、総額で1億米ドルの活動資金の助成を行う予定です。東日本大震災の復興に向けた歩みを、被災地と共に手を携えながら進めていく友でありたい、というカタル国の願いと意志が込められています。

公式サイト (<http://www.qatarfriendshipfund.org/>)

※取材を希望される場合は、下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

【お問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科

入試広報担当 特任教授 中瀬 博之

TEL: 022-795-5013

E-mail: nakase@bureau.tohoku.ac.jp